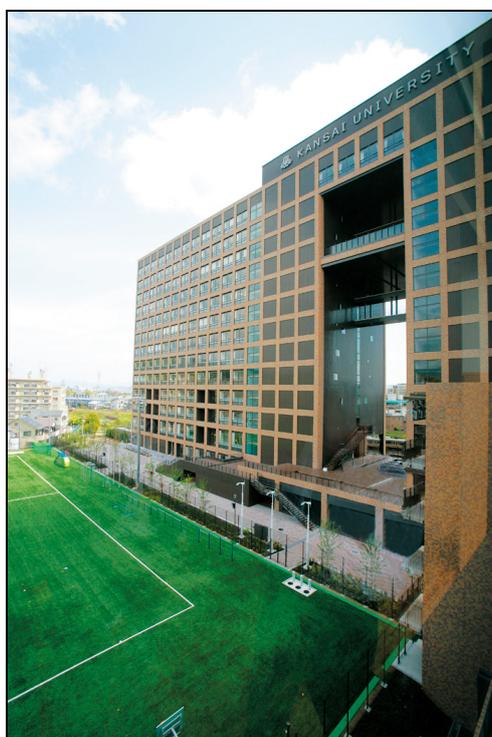


関西大学高等部・中等部 2020年度学校評価報告書



2021年3月

目 次

1	本校の概要	1
2	今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策.....	1
3	アンケートの実施状況.....	8
4	アンケート結果の分析.....	8
5	学校関係者評価委員会からの評価結果.....	9
6	校長の意見書	11
7	アンケート結果	12

1 本校の概要

(1) 沿革

2010年4月

高槻ミューズキャンパスに関西大学の3つめの併設校として開校。関西大学の学是である「学の実化」(学理と実際との調和)の理念に基づき、初等部・中等部・高等部の12年一貫教育を実践。

2014年～2018年

高等部では「持続可能な地球環境の構築に対するイノベーターの創生」を掲げ、文部科学省からスーパーグローバルハイスクール(SGH)として採択される。

2018年1月開催の「SGH甲子園2018」において、ラウンドテーブルディスカッションの部で優秀賞を受賞。その実践をさらに深化させ、国連の提唱するSDGsの活動にも参加。

2019年

開校10周年を迎える。

2020年

新たな次の10年へ向けた将来構想委員会を立ち上げ。

(2) 建学の精神、教育理念・教育方針・教育目標等

初等教育から高等教育までの一貫教育を同一キャンパスで実践することのメリットを最大限に活用し、個人の成長段階を継続的に把握しながら、「確かな学力」、「国際理解力」、「情感豊かな心」、「健やかな体」を発達段階に応じてバランスよく高めることにより、人間力の基礎となる部分を養い、高い倫理観と品格を有した「高い人間力」を持つ人材を育成する。また、課題発見・問題解決を促す体験型の授業により、自ら考え、自ら行動しながら、学んだ知識を実際に応用することで知恵へと昇華することができる能力を養う。これにより、多様な価値観を尊重しながら、共生の道を模索することができる、ユニバーサル(全世界的、万人に通じる、普遍的)な視野を持つ「たくましく」、「しなやかな」人材を育成する。

2 今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策

(1) 重点目標①：確かな学力の定着と向上、進路希望の実現

達成状況の目安：(◎)大幅達成・(○)達成・(△)未達成・(×)大幅未達成

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
<p>ア 中等部では、家庭学習の定着と学習の基礎基本の徹底を図る。特に、スローラーナーの学力向上を図る。</p>	<p>【取組状況(Do)】 本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、国の緊急事態宣言の発出とともに4・5月には全国の学校が一斉休校となった。しかし、本校では学びを止めることなく、オンライン授</p>

<p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力推移調査の校内分析会を開催し、具体的な対策を検討。 ・各定期考査及び学力推移調査の成績不振者に対して個別指導等のフォローを行う。 ・学力向上に関して、生徒アンケート設問9の肯定的回答（1・2）が70%以上。 ・スローラーナーへの対応に関して、生徒アンケート設問12の肯定的回答（1・2）が60%以上。 ・本校の独自性のある教育課程（新カリキュラム）の検討を行い、策定する。 	<p>業を実施した。</p> <p>中等部では学力推移調査の学習実態データを学年ごとに毎回集約し、個々の状況に応じ、質問対応などの指導を行った。また、教科担当と連絡を取り合い、指導すべき点の情報共有を行った。</p> <p>新たな取組（家庭での学習定着の手立て）として希望者を対象に外部業者による個別指導を導入した。</p> <p>【達成状況(Check)】 (○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力推移調査結果の分析方法の研修会(ベネッセより招聘)を開催し、学力向上のために教科担当と学年が連携し、個別に指導した。 ・成績不振者に対して、学年と教科担当者の連携を行い、個別に対応できた。 ・中等部生徒のアンケート結果からは、設問9「授業を通じ、自分の学力は向上していると感じますか」では、1・2の肯定的回答が一昨年度71.5%、昨年度78.9%、本年度83.4%と上昇しており、目標を達成した。 ・設問12「成績が低迷した場合、補習授業で適切なフォローをしてもらえる仕組みがあると感じていますか」では、1・2の肯定的回答が目標を達成したものの、昨年度の76.0%から本年度70.1%と減少した。次年度の課題としたい。 ・カリキュラム検討委員会を中心に、新カリキュラムの検討を進めた。今年度内での策定には至らなかったが、2021年度の早期に策定する予定である。 <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>喫緊の課題としてスローラーナーへの指導を進めていきたい。学校での学力向上の取組を学年ごとに策定し、また、家庭学習についても定着するような指導・支援を進めていきたい。</p>
<p>イ 高等部ではキャリア教育の充実を図り、ミスマッチの無い進路実現を目指す。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関西大学学部説明会の積極的な参加を促し、一人あたり2学部以上の参加。 ・大学進学の情報提供に関して、生徒アンケート設問8の肯定的回答（1・2）が70%以上。 	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響で、6月の高等部1・2年生対象法学部連携セミナー、7月の関西大学各学部訪問は中止とした。 ・10月、高等部2年生を対象に関西大学学部説明会をオンラインで開催した。 ・7月、高等部3年生を対象に学内で大学入試説明会を実施した。 <p>【達成状況(Check)】 (△)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関西大学学部説明会について、学年全体として一人あたり2学部以上の参加は達成できなかった。 ・大学進学の情報提供に関して、設問8「関西大学やその他の大

	<p>学に関する情報が増え、大学進学モチベーションが上がってききましたか」の1・2の肯定的回答は、一昨年度77.3%、昨年度81.6%、本年度82.0%と上昇しており、目標を達成した。また、設問22の高大連携事業についても、1・2の肯定的回答が74.6%となった。</p>
	<p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>高等部の学則定員は144名、高等部から内部進学する関西大学各学部の総定員数は128名となっており、毎年10数名が他大学等に進学することになる。他大学等への進学者の内訳は、難関国立大学等への進学者と、学力低位層の他の大学等への進学者に大きく二分され、進学指導の必要度が増加した。今後、学力低位層の底上げのための指導を進めることが必要である。</p>
<p>ウ 併設校としての使命である関西大学への進学数を増やす。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進路希望調査や個人懇談、三者懇談を実施し、生徒の志望状況を把握。 関西大学への内部進学希望者100名以上。 関西大学への内部推薦の合格率95%以上。 	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>高等部1年生は7月に進路適性検査を実施し、進路希望調査は高等部1～3年生を対象に9月に実施した。それを基に生徒個人面談、7月及び12月には保護者を交えての三者面談を実施するなど、各学年で適宜個別に面談を繰り返し実施した。</p> <p>【達成状況(Check)】 (○)</p> <ul style="list-style-type: none"> 進路希望調査を9月に実施。三者面談は7月、12月に実施した。加えて、学年ごとに日常的に面談を実施し、生徒の志望状況を把握している。 学年団・進路指導部の尽力もあり、関西大学への内部進学希望者は100名となり、目標を達成した。 内部推薦の合格率は100%を達成した。 <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>進路希望調査、面談を継続して実施していく。併せて、関西大学に進学する際に各学部の成績の目安に応えられるように中等部同様、学校での学力向上の取組を学年ごとに策定し、学力向上に努めなくてはならない。</p>

(2) 重点目標②：個性を伸ばす教育の実践とルールの遵守

<p>取組計画及び評価指標(Plan)</p>	<p style="text-align: center;">自己評価</p>
<p>ア 探究学習の深化、充実を図る。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高等部「プロジェクト基礎」、 「プロジェクトゼミ」での外部 	<p>【取組状況(Do)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高等部「プロジェクト基礎」、「プロジェクトゼミ」での外部講師の積極的な活用を行った。今年度開講の全20ゼミで外部講師を登用した。 コロナ禍の影響で、高等部1年生「プロジェクト基礎」における関西大学研究室訪問フィールドワークは中止したが、10月

<p>講師の積極的な活用。今年度開講の全20ゼミで外部講師を登用。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中等部「考える科」、「総合的な学習の時間」及び高等部「プロジェクト基礎」、「プロジェクトゼミ」での積極的なフィールドワークの実施(各学年で年1回以上)。 ・ 探究学習とSDGs活動との連携を深めるため、梅田キャンパスにて、高等部主催の「SDGsフォーラム」を開催。 	<p>に研究班ごとにそれぞれのテーマに関する研究機関(企業・外部団体等)へフィールドワークを実施した。高等部2年生は、ハワイへの研修旅行は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止にした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中等部「考える科」、「総合的な学習の時間」において、12月にオンラインで総合学習発表会を開催した。 ・ 10月にSDGsフォーラムを梅田キャンパスから校内に場所を変更して開催した。
<p>イ ICT 機器を活用した先進的教育活動を取り入れる。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒向けにICT研修及びICTモラル研修を年1回以上開催。 ・ ICT教育推進委員会において、ICT機器を活用した先進的教育活動の方向性を検討。 ・ ICT環境の活用に関して、教員 	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【達成状況(Check)】 (○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度も開講した全20ゼミで外部講師を登用した。 ・ 中等部「考える科」、「総合的な学習の時間」、高等部1年生「プロジェクト基礎」、2年生「プロジェクトゼミ」では新型コロナウイルス感染拡大の影響でフィールドワークなどの多くの活動が大幅な日程変更や開催中止を余儀なくされたが、そのような状況の中でも、研究機関へのフィールドワークを実施し、オンラインでの総合学習発表会を開催した。 ・ 「SDGsフォーラム」について、感染症対策のため、実施時期及び場所を変更したが、今年度も開催することが出来た。SDGsフォーラムの意義は、企業の方から生の話を聴くことで実社会への関心が高まること、そして、生徒各自の将来への職業選択に繋げることができることであり、有意義な活動であると考えてる。 <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>開校以来本校の特色の一つとして位置づけている探究学習であるが、プロジェクト学習における論文作成等の課題も上がってきているので、学習内容や指導方法について検討していきたい。また、新学習指導要領に位置付けられる探究科目の導入も視野に入れながら、2022年度からの段階実施に向け、カリキュラム策定を現在検討中である。</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒向けにICT研修及びICTモラル研修を実施した。 ・ ICT教育推進委員会において、ICT機器を活用した先進的教育活動の方向性を検討し、今後の方向性を確認した。 ・ 新型コロナウイルス感染拡大による休校期間には、ICT機器を活用し、オンライン学習に取り組んだ。 <p>【達成状況(Check)】 (○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒対象のICT研修及びICTモラル研修を上記の通り実施した。

<p>アンケート設問 17 の肯定的回答（1・2）が 70%以上。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染の第 2 波、第 3 波に備えてオンライン学習を実施する場合は、これまでのオンライン学習の成果・課題を生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> 休校期間中に、クラスルームによる課題提示・提出等、生徒との双方向のやり取りや Zoom を活用したオンライン学習の実践ができた。 設問 17 の結果は、1・2 の肯定的回答が 86.8%となり、目標を達成した。 <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>ICT の活用は本校が開校以来進めてきたものであり、教科の特性、生徒の成長過程等に留意しながら、中等部・高等部いずれの授業においても、必要に応じて iPad やパソコン、教室のプロジェクター画面を活用して授業を行っている。今後も継続して、ICT モラルについては知識、運用の指導を進め、併せて教員研修も実施していきたい。</p>
<p>ウ 国際理解教育の充実を図る。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中等部、高等部とも全員参加の海外研修以外の海外交流活動を積極的に展開する。 海外交流校の増加に向けた取組を進める。 国際理解に関して、生徒アンケート設問 21 の肯定的回答（1・2）が 70%以上。 	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中等部 3 年生のカナダ研修旅行は中止、高等部 2 年生のハワイ研修旅行も実施を取り止めた。 関西大学国際部及び各国領事館等に交流校増加に向けて問い合わせを行った。 <p>【達成状況(Check)】 (○)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際理解教育に関しては、コロナ禍の中、オンラインで、シンガポール、台湾との交流を実施した。 アンケート設問 21 の結果は、中等部 81.2%、高等部 84.6%と目標を達成した。 コロナ禍の影響で、海外交流校との接触は進展しなかったが、交流校増加に向けた問い合わせを行った。 <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>コロナの影響は今後も続くと考えられるが、コロナ禍の終息を見越して国際化を推し進めていきたい。また、オンラインでの交流についてもますますの充実を図っていきたい。</p>
<p>エ 基本的な生活習慣を確立させる。特に、時間厳守と挨拶の励行に力を注ぐ。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 月ごとの遅刻数を把握し、多回数の子生徒に対して個別指導。 基本的な生活習慣に関して、生徒アンケート設問 19 の肯定的回答（1・2）が 70%以上。 	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の出席については、朝は授業担当者が出席をとり、端末に入力する形をとっている。各学年、担任が任意で最終時限終了後にホームルームを実施しているクラスもある。 挨拶については、生徒会執行部が初等部と連携して挨拶運動を実施した。 <p>【達成状況(Check)】 (○)</p> <ul style="list-style-type: none"> 月ごとの遅刻数を把握し、遅刻回数が多い生徒に対し、担任・学年主任を中心に個別指導を実施した。

	<p>・アンケート設問 19 の結果は、1・2 の肯定的回答が中等部は昨年度 89.2%、本年度 85.4%、高等部は昨年度 77%、本年度 84.4%という結果であり、基本的な生活習慣が概ね身についていると思われる。</p>
	<p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>中等部の 10 分間読書、高等部のモジュール学習の時間、および中等部・高等部の朝礼、終礼を廃止して 2 年目になるが、生徒の基本的な生活習慣の確立を促すため、これらに代わる良い方策を模索していきたい。</p> <p>また、今後は遅刻、早退等の出席状況だけではなく、出席状況から見えてくる生徒の現状について生徒指導部、各学年の生徒指導係を中心に情報を共有し、生徒の状況把握に繋げていきたい。</p>

(3) 重点目標③：教職員のさらなる資質向上及び業務の相互協力の推進

取組計画及び評価指標 (Plan)	自己評価
<p>ア 授業力の向上を図る。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研究授業を実施。 ・週 1 回以上の校長による校内見回り、授業参観の実施。 	<p>【取組状況(Do)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 11 月に教員間の校内参観授業を実施した。 ・ 4 教科（英語・数学・理科・社会）で研究授業を実施した。 ・ 校長の授業参観（巡視）を実施した。 ・ オンライン授業については、Zoom でのホームルームなど様々なアプリを使用し、各教員が創意工夫を凝らし実施した。 <p>【達成状況(Check)】 (○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍の影響により、全体の研究授業については実施が難しかったため、代替策として各教科の公開授業週間を設けた。 ・ 校長の授業の見回り、授業参観の実施は、ほぼ毎日実施した。教室に入り、授業を参観することも行った。 <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>今年度は 4・5 月の休校時に、オンライン学習を実施したことに伴い、教材の進行状況、生徒の理解、定着について把握することが難しかった。今後は、オンライン授業でも適切に教材の進行状況や生徒の理解・定着度を把握できる仕組みを検討していくことが必要である。</p>
<p>イ 教員研修の充実を図る。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT 研修を年 1 回以上実施。 ・ 人権研修を年 1 回以上実施。 ・ 研修体制に関して、教員アンケート設問 31 の肯定的回答(1・ 	<p>自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オンライン学習を推進するために、ICT (Zoom 等) に関する研修を 2 回実施した。 ・ 人権意識と実践力向上のために、人権教育部会が中心となって本校の生徒の実態にあった内容及び招聘する講師について検討し、研修会を実施することができた。

<p>2) が 60%以上。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員対象人権研修会を 7 月・11 月に実施した。 <p>【達成状況(Check)】 (△)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン学習推進のため、Zoom 等の研修を 2 回実施した。ICT 研修については、短い時間であってもその後の授業等で ICT を活用するための有効な場となった。 ・教員対象人権研修会を 7 月と 11 月に実施した。人権研修会により、人権意識の向上につながったのではないかと考える。 ・教員アンケートの設問 31 の 1・2 の肯定的回答が、昨年度 63.2%、本年度 39.5%と減少した。今後は改善していきたい。 <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>研修の実施回数については目標値を達成したが、教員の資質向上、生徒の知的好奇心を喚起する授業構成のための教員の研修については、各部主任と調整しながら今後も機会を作っていく。</p>
<p>ウ 業務のマニュアル化、改善を図る。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務のマニュアル化の方策を校務運営委員会にて検討。 ・教科、校務分掌ごとのマニュアル化の推進。 ・超過勤務時間の削減（2019 年度から全体で 5%減）。 	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務の連携・引き継ぎをスムーズに行うように、PC 上で各学年・各部署のデータフォルダに業務を記録し、教職員の誰もが閲覧できるようになっている。 ・各種会議の開催については、各学年・各分掌主任の采配（時期・業務内容等）により設定し、業務の削減に繋げている。 <p>【達成状況(Check)】 (○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き方については、2019 年度に各学年・分掌から出た意見について継続課題として検討した。2020 年度総括においては各学年主任、各部主任、教科主任と改善に向けてヒアリングを行った。 ・マニュアル化は各学年・分掌ごとにまとめているものの更なる効率化を進めていきたい。 ・超過勤務時間については、2020 年度は 4・5 月の学校休校のため、2019 年度と集計条件等の差異があり、一概に比較検討はできなかった。 <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議の回数、内容（案件の精査等）について更なる精査に努めていきたい。 ・教員の働き方の改善と生徒に対する教育効果の向上を両立できるよう、様々な業務でマニュアル化や電子化を推進し、効率化を図っていきたい。
<p>エ ミドルリーダー（各主任）の</p>	<p style="text-align: center;">自己評価</p>

<p>育成と裁量拡大の推進及び 教員間の協力体制の構築。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミドルリーダーの育成と裁量拡大について、校務運営委員会等を活用し、具体的方策を検討する。 ・教員間の協力体制に関して、教員アンケート設問5の肯定的回答（1・2）が60%以上。 	<p>【取組状況(Do)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年・各分掌のそれぞれの主任が裁量を発揮し、学校運営に参画している。 ・教員間相互の報告・連絡・相談を徹底している。
	<p>【達成状況(Check)】（△）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員アンケートの質問5の1・2の肯定的回答は44.7%と目標を下回った。職場の信頼関係を構築していくための施策を考えていきたい。 ・本年度の運営委員会においては、コロナ禍への対応が多く、ミドルリーダー育成のための十分な具体策を実施することができなかった。
	<p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>開校以来10年が経過し、教員の世代交代が始まっている現状を踏まえ、ベテラン教員が中堅・若手教員にスキルや経験を伝授していくための機会を考えたい。</p>

3 アンケートの実施状況

本年度も、アンケートの実施にはGoogleフォームを使用したことで、配布・回収作業がなくなり、集計も容易になった。全体的には業務の簡便化を図ることができた。

(1) 生徒の評価

11月上旬に中等部・高等部ともに「学校生活全般」に関するアンケートに学校評価共通項目を盛り込んで実施した。回答率は2019年度86.0%、2020年度91.3%であった。

(2) 保護者の評価

11月上旬に中高等部の全保護者を対象に実施した。回答率は2019年度75.8%、2020年度87.5%であった。

(3) 教員の評価

11月上旬に中高等部の教員を対象に実施した。回答率は2019年度75.0%、2020年度76.0%であった。

4 アンケート結果の分析

以下、(1)「そう思う」…1、(2)「どちらかと言えばそう思う」…2、(3)「どちらかと言えばそう思わない」…3、(4)「そう思わない」…4と表記する。

(1) 生徒アンケートについて

生徒アンケートの結果は、設問1「学校生活は楽しいと感じていますか」では1・2の肯定的回答が中等部95.7%、高等部91.5%であり、設問2「この学校に入学してよかったと思いますか」では中等部94.0%、高等部84.7%と高い数字が出ている。我々学校としてはこの上ない喜びである。

次に、学習に関する設問9では、1・2の肯定的回答は中等部83.4%、高等部80.4%であり、設問11では中等部78%、高等部73.1%、設問12では中等部70.1%、高等部63.3%、設問13

では中等部 84.3%、高等部 84.1%と、どの設問でも概ね 70%を超えている。本校の生徒の学習に対する指導、取組に一定の成果があるとみてよいであろう。

しかしながら、「成績が低迷した場合、補習授業で適切なフォローをしてもらえる仕組みがあると感じていますか」の設問 12 に関しては、1・2 の肯定的回答が中等部生で 2019 年度 76%、本年度 70.1%と減少、高等部生で 2019 年度 61.3%、本年度 63.3%という結果であった。重点目標①に記載したスローラーナーへの指導を考えなければならない。

(2) 保護者アンケートについて

保護者のアンケートでも、設問 2 「この学校に入学させてよかったと思われませんか」には肯定的回答 1・2 が中等部 92.1%、高等部 90.9%と、中等部・高等部ともに高い満足度である。学力に関する設問 9 についても、中等部 69.8%、高等部 70.4%と一定の評価は頂いているようである。ただ、スローラーナーへの対応に関する設問 14 に関しては、中等部 55.2%、高等部 55.4%と低い評価であり、課題が残る。設問 25 の初等部連携についても、中等部 50.1%、高等部 64.2%という結果であった。今年度はコロナの影響で思うような連携ができなかったが、次年度以降更なる連携を構築していかなければならないと考える。

(3) 教員アンケートについて

教員アンケート結果は、設問 4 の「職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されている」に関しては 3（どちらかと言えばそう思わない）が 2019 年度 43.6%、2020 年度 41.7%で、大きな変化は無かった。会議の運用について更なる改善をしていきたい。

設問 5 の「教員間で相互理解を図るとともに、その信頼関係のもと学校運営を行っている」では 1・2 の回答は 44.7%、3（どちらかと言えばそう思わない）が 2019 年度 35.9%、2020 年度 31.6%と減少した。

設問 6 の「管理職と教員との間で相互理解と信頼関係を築いている」の肯定的回答 1・2 の合計が 2019 年度 61.5%、2020 年度 34.2%、否定的回答 3・4 の合計が 2019 年度 57.5%、2020 年度 65.8%と、否定的回答が増加している。設問 13 の「学力向上のための組織的な取組を行っている」の 1・2 合計は 44.7%、設問 14 の 1・2 合計は 50%、設問 15 の 1・2 合計は 51.3%と課題が残る結果となった。本校に適した解決策を模索していきたい。設問 18 の 1・2 合計は 71%で肯定的な回答率が高い。しかしながら、今後も教員の結束力を高め、組織的な教育活動、取組を行うための方策を考えていきたい。

5 学校関係者評価委員会からの評価結果

(1) 自己評価の結果を受けて

ア 重点目標①：確かな学力の定着と向上、進路希望の実現について

- ・保護者の意見としては、「4・5月の休校期間中もオンラインでの学習を実施いただき、この学校で良かったと大変感謝している」とあり、評価が高かった。
- ・本校の生徒について、プレゼンや発表の力は長けており、大学進学後も安心感があるが、一方で理系については選択する生徒が減少しており、多様な分野の学びを重視する観点から課題を感じている。関西大学への進学者、国公立大学等への進学希望者のいずれに対しても早

い段階から理系に関する教育について、重点的な指導が必要である。

- ・高等部の理系の生徒は、学年で約 150 名中 40～45 名程度であり、2年、3年と学年が上がるにつれて理科・数学の学力が下がる傾向にあり、課題である。
- ・中等部の生徒アンケート結果に注目すると、「授業を通じて自分の学力が向上していると感じるか」の評価が年々上がっている。また、コロナ禍にあっても満足度が高い回答となっている。
- ・オンラインでの学習について最先端の教育を行っているのではと感じる。
- ・オンラインでの学習には一長一短あり、グループ学習や理科の実験などは難しいところがあったが、実験の動画を撮って配信し、レポートを課す方法をとった。オンライン学習は同じ動画を何度も視聴することができるため、繰り返し学べるということが良かった。
- ・オンライン学習については、大学でも同じような評価である。リアルタイムでは一回きりだが、オンデマンド型であれば何度も確認ができる。まじめな学生ほど、オンデマンド型に対する評価が高い。自分のペースで勉強ができる点、何度も見直しができる点が評価につながっていると思われる。
- ・オンラインで学べる機会は増えているが、対面だからこそその魅力、例えば、先生の人柄、人との接し方、友達との関わりについても、この学校の魅力として、もっと伸ばす必要がある。
- ・子どもの質が変わってきている。「主体的・対話的で深い学び」から新学習指導要領では「主体的な学びに向かう力・人間性」の育成が求められている。人と人との関わり、コミュニケーション力を身につけるためにはオンラインだけでは難しい。

イ 重点目標②：個性を伸ばす教育の実践とルールの遵守について

- ・研修旅行に行けなかったことは、生徒にとっては寂しいものであったと思う。難しい状況下であるが、次年度の対応について、研修先の変更やオンライン交流も含め検討が必要である。
- ・初等部6年間の教育と中高等部6年間の教育との接続について、探究学習は、初等部で行っているアクティブラーニングとリンクするものとするが、同一キャンパスで12年一貫教育を展開している併設校として、初等部が行っている教育を受け止め、さらなる初中高連携や探究学習の内容についての改善を進めていく必要がある。
- ・高等部の卒業研究発表会での発表を拝見したが、非常に印象に残っている。大学生の卒業論文と比較しても遜色ない取組を行っていると感じる。
- ・大学には、受け身ではなく、自主的に学ぶ分野を選択し、その分野を研究したいという想いを持って進んで欲しい。大学で卒業研究を行う段階になって、この大学、この学部ではなかったと気付く学生もいる。高等部で研究、論文執筆を行うことは、自分が学びたい分野を見つける上で、大変貴重である。
- ・保護者から、初等部から中等部への進学者について、初等部では非常に手厚い対応があるが、中等部では成長過程での違いがあると思うが、突き放された印象があるという意見も聞いている。中等部からの方針や対応方法について説明の充実を図り、もう少し丁寧なフォローを行う必要がある。

ウ 重点目標③：教職員のさらなる資質向上及び業務の相互協力の推進について

- ・教員同士がコミュニケーションを取ることを意識する必要がある。部署同士の連携や学年間での連携が課題となっている。何よりも「ホウレンソウ（報告・連絡・相談）」が大切である。企業でも同様の状況が起きており、大きな課題である。
- ・教員はサービス業的な性格がある。労を惜しまずしっかりと資料作り、授業準備をして対応することが必要であり、魅力ある先生に子どもたちはついてくるものである。
- ・併設校同士の情報交換については、必要に応じて見学に来ることはあるが、頻繁には実施していない。情報交換や見学等の頻度を増やしてはどうか。
- ・授業力の向上、教員の資質向上のための施策として、教員間での授業見学、研究授業の機会を増やしてはどうか。例えば、「年間何回授業を見学する」といった目標を設定している学校もある。具体的に目標を設定しても良いのではないか。
- ・保護者も授業を見に行きたいと思っている。自由に見学してもよい期間などを設定して欲しい。他校では指定日に見学が可能という対応を行っている。

(2) アンケート結果について

- ・生徒アンケートの集計結果について、「学校生活は楽しいと感じていますか」の回答が、中等部に比べて高等部が「2（どちらかと言えばそう思う）」の割合が大きくなっている。肯定的回答として合算すれば概ね中高の違いはないが、この結果についても改善の余地があるのではなかろうか。
- ・生徒アンケートにおいて、学校が楽しいという回答が9割を超えていることは何よりも素晴らしい数字である。授業が充実しているというように理解する。保護者の満足度も肯定的回答が8～9割と高い数字となっている。
- ・外部業者による補習指導を導入いただいているが、保護者としては私立校に入学して学校で全て面倒を見ていただけたらと思っている。補習の方向性についてももう少し明確に示していただきたい。

[学校関係者評価委員会委員名簿]

氏 名	所属及び役職
檜 山 裕美子	高槻市立中学校校長会 会長
秋 山 典 子	関西大学中等部・高等部教育後援会 会長
城 下 英 行	関西大学社会安全学部 准教授 ※評価結果とりまとめ執筆者
井 尻 誠	関西大学中等部・高等部 校長

6 校長の意見書

関西大学中等部・高等部
校長 井 尻 誠

アンケート結果から、中等部・高等部ともに、生徒が「入学してよかった」、「学校生活は楽しいと感じている」ことがわかる。この結果は、我々教職員にとっては大変喜ばしいことである。また、

保護者からも同等の評価を頂いており、評価に感謝したい。

学校関係者評価委員（以下委員）からは、重点目標①：「確かな学力の定着と向上、進路希望の実現」について、オンライン学習、授業への取組を評価頂いている。

重点目標②：「個性を伸ばす教育の実践とルールの遵守」に対して、委員からは、高等部での探究学習及び卒業研究発表（卒業論文執筆）については、「大学生と比較しても遜色が無い、大学での一人一人の学びに向けて貴重である」と大変高い評価を頂いている。

重点目標③：「教職員の更なる資質向上及び業務の相互協力の推進」については、他の学校、一般企業においても肝要なこととして「報告・連絡・相談（報連相）」の重要性を述べられた。生徒の成長を一心に考える集団としては欠かすことができないことである。

本校内の教員研修のみならず、併設校間の教員交流についてもご指摘頂いた。今後の課題である。

本校が創設から早 11 年目に入り、今後も創設からの本校の教育方針に則り、本校独自の教育活動を実践していきたい。併せて、私立学校として生き延びるためには、内外の様々な課題に対し検討を重ね、一つ一つ改善していかなければならないと考える。

少子化の問題は回復する兆しは無く厳しい状況が続く。また、今後新型コロナウイルス感染拡大による経済への影響も私立学校には大きく影響してくる。

本校が生き延びるためには、時代の趨勢、社会のニーズに鑑み、まさに本校が教育の軸としている「探究－解のない課題－」に向けて、解決策を模索しながら進んでいかなくてはならない。

関西大学の併設校である本校の使命は、優秀な生徒をどれだけ関西大学に送り出せるかである。今まで本校が培ってきた変わらない柱を大切にしつつ、変えていくべき事柄をそれぞれ見据え、更なる発展を遂げるようにしていきたい。

7 アンケート結果

2020 年度 学校評価アンケート集計（生徒用／保護者用／教員用）

以 上

2020年度 関西大学中等部・高等部 自己点検・評価アンケート 結果(生徒用)

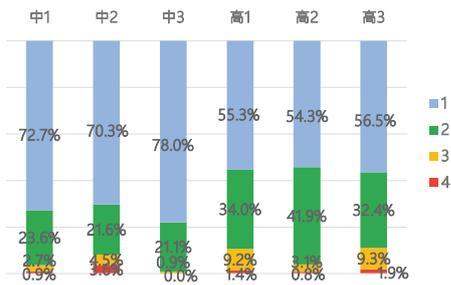
[1] そう思う [2] どちらかと言えばそう思う [3] どちらかと言えばそう思わない [4] そう思わない

NO	設問	中等部全体				高等部全体			
		1	2	3	4	1	2	3	4
1	学校生活は楽しいと感じていますか。	73.6%	22.1%	2.7%	1.5%	55.3%	36.2%	7.1%	1.3%
2	この学校に入学して良かったと思いますか。	67.6%	26.4%	4.8%	1.2%	39.2%	45.5%	12.4%	2.9%
3	本校の教育方針を理解していますか。	31.8%	53.0%	11.2%	3.9%	23.8%	49.2%	20.6%	6.3%
4	登下校時を中心に、関大中高等部生としての自覚をもって行動していますか。	48.3%	41.9%	8.5%	1.2%	42.2%	47.5%	7.9%	2.4%
5	事故、事件、災害が発生したとき、どのように行動すればよいのか、指示を受けていますか。	37.2%	40.2%	14.5%	8.2%	31.6%	39.7%	21.3%	7.4%
6	先生方は学校生活での色々な問題に対して、素早く適切な対応をしていると思いますか。	36.3%	40.2%	15.7%	7.9%	19.4%	49.1%	20.7%	10.9%
7	「情報」「総合」等の授業を通じて、情報に関する倫理やその保護について理解していますか。	46.7%	40.6%	9.7%	3.0%	37.0%	50.8%	9.8%	2.4%
8	関西大学やその他の大学に関する情報が増え、大学進学モチベーションが上がってきましたか。	30.9%	40.6%	19.1%	9.4%	43.0%	39.0%	13.8%	4.2%
9	授業を通じ、自分の学力は向上していると感じていますか。	37.9%	45.5%	13.0%	3.6%	26.8%	53.6%	13.0%	6.6%
10	将来やりたいことが見付き、それに向けて逆算をして準備を始めていますか。	20.2%	28.1%	34.7%	16.9%	30.0%	37.7%	21.8%	10.6%
11	模擬試験後の面談等によって、自らの学力分析ができ、その後の学習に役立っていますか。	24.8%	53.2%	17.7%	4.3%	22.8%	50.3%	20.6%	6.3%
12	成績が低迷した場合、補習授業で適切なフォローをしてもらえる仕組みがあると感じていますか。	27.8%	42.3%	20.5%	9.4%	17.0%	46.3%	22.9%	13.8%
13	課題や提出物にまじめに取り組み、家庭学習習慣は身につけていると思いますか。	38.7%	45.6%	12.7%	3.0%	34.1%	50.0%	11.9%	4.0%
14	自分の学習状況を保護者も把握していると思いますか。	49.2%	37.1%	9.4%	4.3%	46.0%	37.6%	10.8%	5.6%
15	生徒としてのマナーやモラル向上のための指導によって、規範意識が昨年より高まったと思いますか。	39.3%	46.0%	12.2%	2.4%	29.7%	48.3%	16.4%	5.6%
16	いじめを許さない指導が日常的に行われていると思いますか。	46.4%	34.5%	11.2%	7.9%	36.8%	39.2%	16.4%	7.7%
17	他者への貢献や人権意識を高める指導が日常的に行われていると思いますか。	41.1%	42.3%	12.4%	4.2%	27.7%	49.7%	17.0%	5.6%
18	先生とのコミュニケーションが十分にとれ、先生の指導の意図を理解していますか。	41.8%	39.4%	13.0%	5.8%	26.6%	49.1%	18.2%	6.1%
19	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの仕方を学びましたか。	42.1%	43.3%	10.9%	3.6%	36.0%	48.4%	12.4%	3.2%
20	各学校行事の意義や目的を理解しており、行事を経験する中で自分の成長を感じますか。	45.8%	42.4%	8.2%	3.6%	38.5%	44.3%	13.2%	4.0%
21	異文化を理解し受け入れ、自文化を論理的に適切な言葉で発信していく力がつきましたか。	36.5%	44.7%	15.2%	3.6%	37.1%	47.5%	12.2%	3.2%
22	高大(あるいは中大、中高の学校同士)の教育連携があると思いますか。	33.3%	39.7%	17.3%	9.7%	33.1%	41.5%	16.9%	8.5%
23	悩みが生じたときに、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談ができる体制ができていると思いますか。	40.6%	36.7%	12.7%	10.0%	27.3%	45.1%	17.8%	9.8%
24	工夫された授業や、おもしろい実験などが取り入れられていると思いますか。	53.8%	28.7%	11.2%	6.3%	29.6%	44.3%	18.7%	7.4%

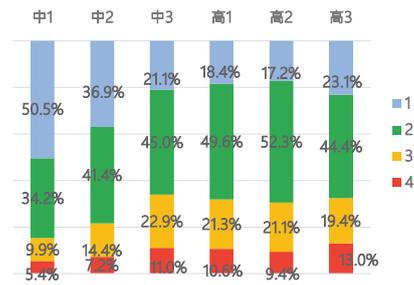
生徒集計

[1] そう思う [2] どちらかと言えばそう思う [3] どちらかと言えばそう思わない [4] そう思わない

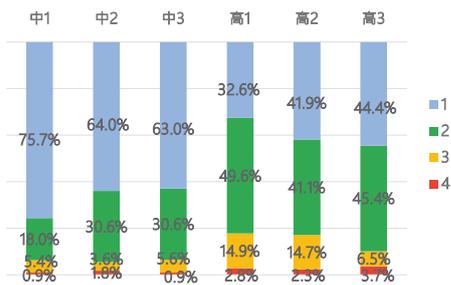
1. 学校生活は楽しいと感じていますか。



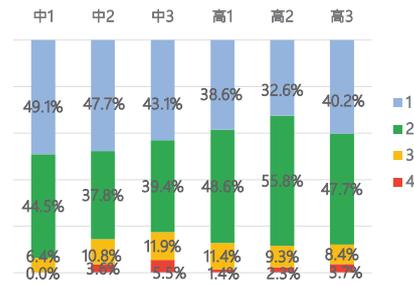
6. 先生方は学校生活での色々な問題に対して、素早く適切な対応をしていると思いますか。



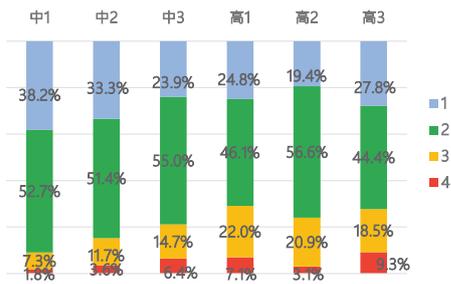
2. この学校に入学して良かったと思いますか。



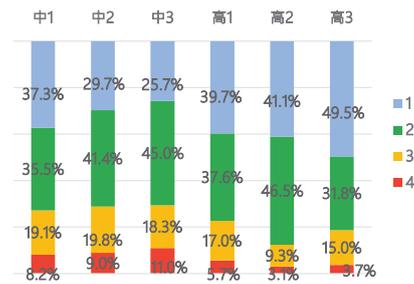
7. 「情報」「総合」等の授業を通じて、情報に関する倫理やその保護について理解していますか。



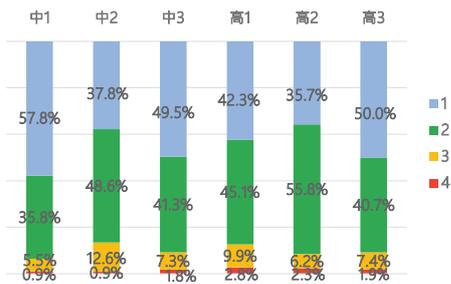
3. 本校の教育方針を理解していますか。



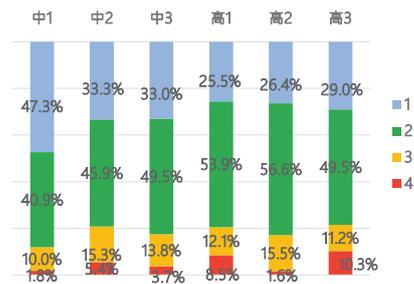
8. 関西大学やその他の大学に関する情報が増え、大学進学モチベーションが上がってきましたか。



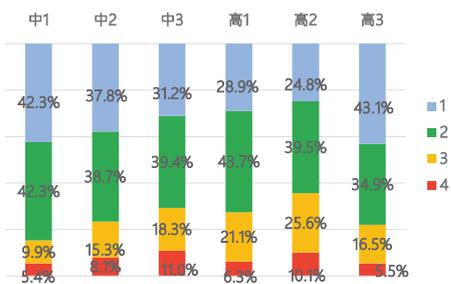
4. 登下校時を中心に、関大中高等部生としての自覚をもって行動していますか。



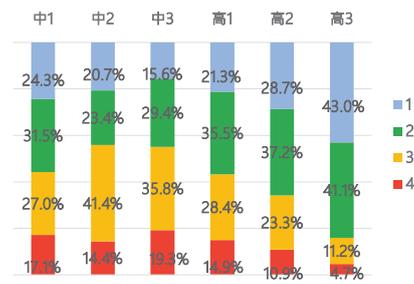
9. 授業を通じ、自分の学力は向上していると感じていますか。



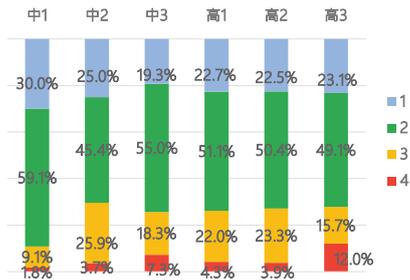
5. 事故、事件、災害が発生したとき、どのように行動すればよいのか、指示を受けていますか。



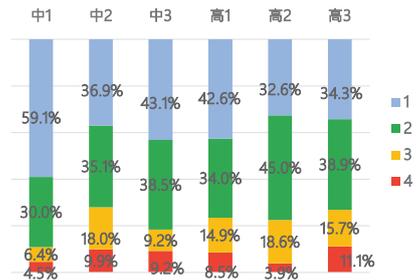
10. 将来やりたいことが見つかり、それに向けて逆算を始めていますか。



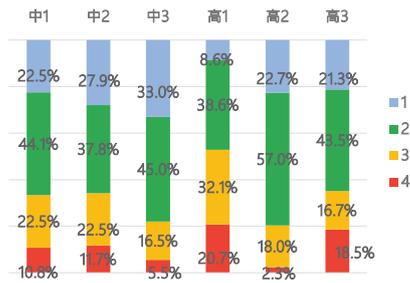
11. 模擬試験後の面談等によって、自らの学力分析ができ、その後の学習に役立っていますか。



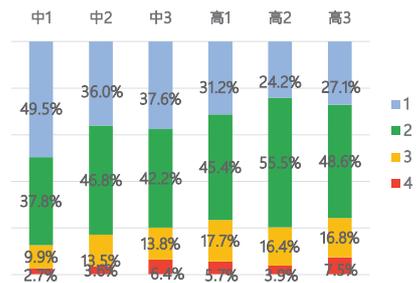
16. いじめを許さない指導が日常的に行われていると思いますか。



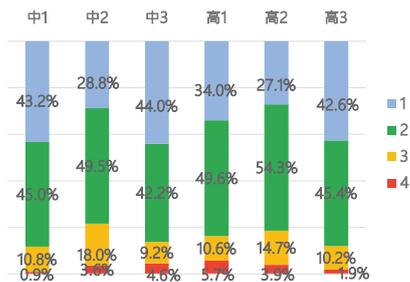
12. 成績が低迷した場合、補習授業で適切なフォローをしてもらえる仕組みがあると感じていますか。



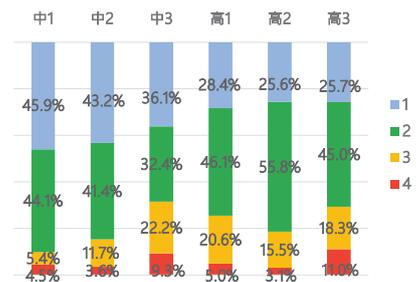
17. 他者への貢献や人権意識を高める指導が日常的に行われていると思いますか。



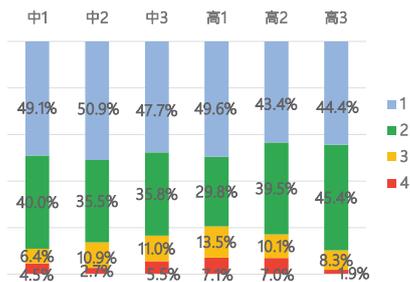
13. 課題や提出物にまじめに取り組み、家庭学習習慣は身につけていると思いますか。



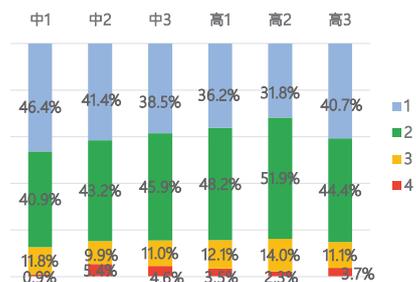
18. 先生とのコミュニケーションが十分にとれ、先生の指導の意図を理解していますか。



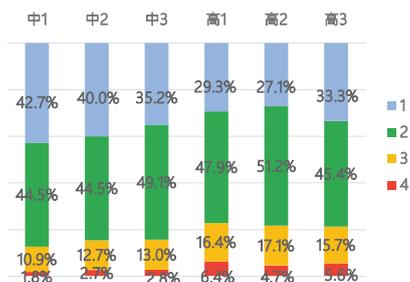
14. 自分の学習状況を保護者も把握していると思いますか。



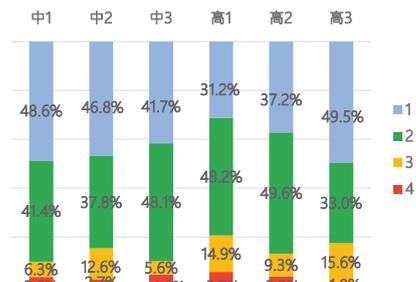
19. 基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの仕方を学びましたか。



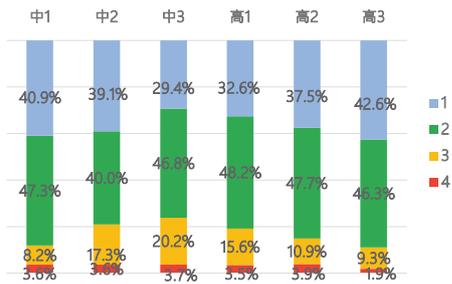
15. 生徒としてのマナーやモラル向上のための指導によって、規範意識が昨年より高まったと思いますか。



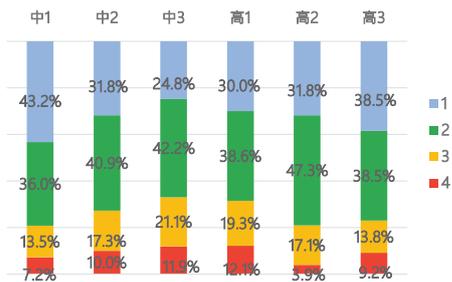
20. 各学校行事の意義や目的を理解しており、行事を経験する中で自分の成長を感じますか。



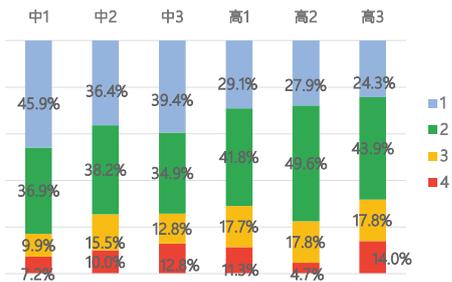
21. 異文化を理解し受け入れ、自文化を論理的に適切な言葉で発信していく力がついてきましたか。



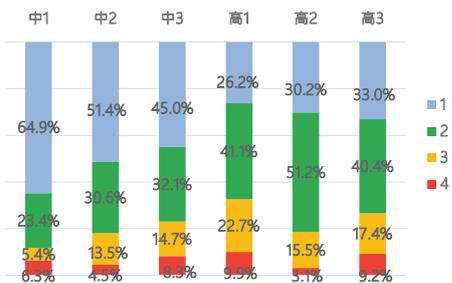
22. 高大(あるいは中大、中高の学校同士)の教育連携があると思いますか。



23. 悩みが生じたときに、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談ができる体制ができていると思いますか。



24. 工夫された授業や、おもしろい実験などが取り入れられていると思いますか。



2020年度 関西大学中等部・高等部 自己点検・評価アンケート 結果(保護者用)

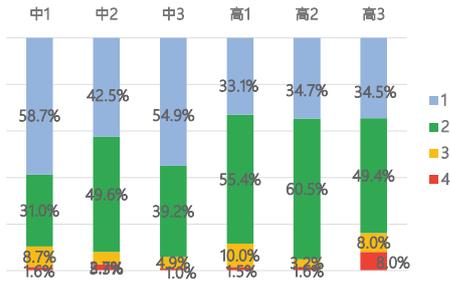
[1] そう思う [2] どちらかと言えばそう思う [3] どちらかと言えばそう思わない [4] そう思わない

NO	設問	中等部全体				高等部全体			
		1	2	3	4	1	2	3	4
1	ご子女は、生き生きとした学校生活を送っていると思えますか。	52.2%	39.6%	6.5%	1.8%	34.0%	55.7%	7.0%	3.2%
2	保護者として、この学校に入学させて良かったと思えますか。	44.0%	48.1%	6.5%	1.5%	42.2%	48.7%	4.7%	4.4%
3	本校の教育方針・教育目標を理解されていますか。	29.3%	62.8%	7.3%	0.6%	27.6%	65.7%	5.3%	1.5%
4	ウェブや学校からの連絡、学級通信等によって、学校の様子がよくわかり、指導の意図が伝わっていますか。	25.8%	48.7%	19.9%	5.6%	21.4%	54.8%	20.5%	3.2%
5	避難訓練や安全対策など積極的な対策を講じていると思えますか。	29.9%	55.4%	12.3%	2.3%	30.5%	56.3%	10.9%	2.3%
6	学校は、事故、事件、災害に対する対応が的確な組織になっていると思えますか。	34.9%	54.5%	8.8%	1.8%	33.1%	52.8%	11.4%	2.6%
7	学校は個人情報の重要性をよく理解し、その保護に努めていると思えますか。	46.9%	47.2%	3.8%	2.1%	44.9%	49.0%	5.9%	0.3%
8	本校の教育活動に対する地域の理解促進のための取り組みや、地域人材の活用が行われていると思えますか。	24.0%	57.2%	16.4%	2.3%	14.7%	66.3%	17.0%	2.1%
9	本校は学力向上のために組織的な取組を行っていると思えますか。	22.3%	47.5%	23.5%	6.7%	20.8%	49.6%	19.9%	9.7%
10	お子様が人生のロードマップを描き、逆算して大学や学部を選び、主体的に進路に向けた準備をするための指導がなされていると思えますか。	11.4%	53.4%	26.7%	8.5%	20.2%	53.1%	18.2%	8.5%
11	生徒が主体的で対話的な深い学びを行い、思考力を高めるための授業作りを行っていると思えますか。	24.9%	50.4%	22.3%	2.3%	21.7%	56.3%	17.3%	4.7%
12	学校は生徒個々の学力とその推移を的確に把握していると思えますか。	25.8%	58.9%	12.0%	3.2%	27.6%	56.0%	12.9%	3.5%
13	学校は教室のディスプレイやPCなど充実したICT環境を活用し、授業内容の工夫に取り組んでいると思えますか。	53.1%	38.7%	5.3%	2.9%	47.2%	42.8%	7.6%	2.3%
14	習熟度の遅れた生徒へのフォローや補習授業の取組が十分に行われていると思えますか。	10.3%	44.9%	32.6%	12.3%	12.3%	43.1%	29.6%	15.0%
15	学校からの連絡や懇談は緊密に行われていると思えますか。	26.4%	48.7%	20.2%	4.7%	19.6%	51.9%	24.0%	4.4%
16	学校や社会のルールを遵守させ、生徒としてのマナーやモラルを向上させる取組が行われていると思えますか。	25.8%	63.9%	7.6%	2.6%	23.2%	61.3%	11.1%	4.4%
17	いじめを許さない学校・学級作りに積極的に取り組んでいると思えますか。	27.9%	61.0%	10.0%	1.2%	24.0%	62.8%	11.1%	2.1%
18	お子さまの日常的な言動の中に、社会や地域、他者に対する貢献の意識が見られるようになったと思えますか。	15.2%	52.2%	27.9%	4.7%	17.9%	58.4%	19.1%	4.7%
19	本校では、他者の人権を尊重する教育が十分に行われていると思えますか。	19.1%	62.2%	16.1%	2.6%	24.3%	58.9%	12.9%	3.8%
20	本校は、生徒の学校生活や家庭生活について保護者との懇談や連絡を密に行い、相互理解を図っていると思えますか。	20.2%	49.6%	25.5%	4.7%	17.9%	51.3%	25.5%	5.3%
21	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導が行われていると思えますか。	18.5%	60.7%	18.8%	2.1%	15.2%	57.5%	23.5%	3.8%
22	各学校行事の意義や目的を生徒に理解させ、行事を経るごとに生徒が成長していくための指導がなされていると思えますか。	23.2%	65.1%	9.7%	2.1%	19.6%	61.0%	16.4%	2.9%
23	異文化を理解し受け入れ、自文化を論理的に適切な言葉で発信していくための教育が充実していると思えますか。	23.5%	57.2%	16.1%	3.2%	29.0%	55.7%	12.0%	3.2%
24	高大(あるいは中大、中高の学校同士)の教育連携が積極的に行われていると思えますか。	16.1%	47.5%	27.6%	8.8%	23.2%	54.5%	15.5%	6.7%
25	初等部と中等部・高等部との連携が十分に行われていると思えますか。	11.4%	38.7%	32.3%	17.6%	13.8%	50.4%	26.4%	9.4%
26	子どもに何らかの問題が生じたとき、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談ができる体制ができていると思えますか。	20.5%	58.1%	18.8%	2.6%	21.4%	57.5%	16.4%	4.7%
27	本校の教員は、教材研究や指導力の向上に努めようとしていると思えますか。	24.9%	57.8%	13.8%	3.5%	24.3%	55.4%	14.4%	5.9%

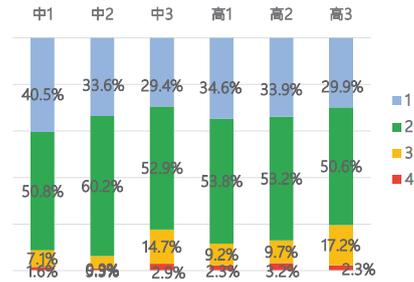
保護者集計

[1] そう思う [2] どちらかと言えばそう思う [3] どちらかと言えばそう思わない [4] そう思わない

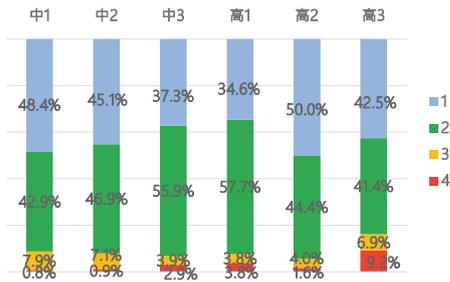
1. ご子女は、生き生きとした学校生活を送っていると思われませんか。



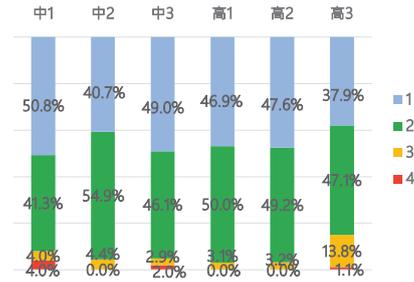
6. 学校は、事故、事件、災害に対する対応が的確な組織になっていると思われませんか。



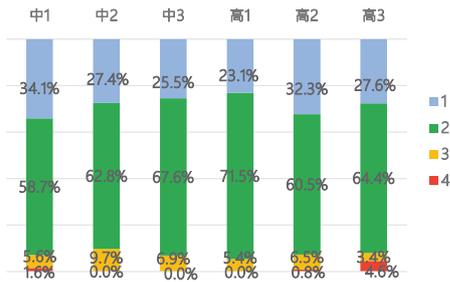
2. 保護者として、この学校に入学させて良かったと思われませんか。



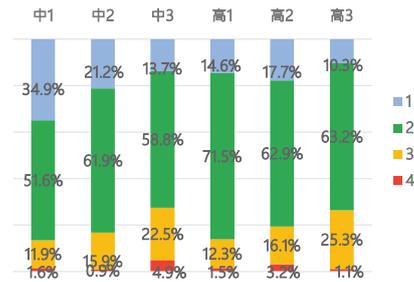
7. 学校は個人情報の重要性をよく理解し、その保護に努めていると思われませんか。



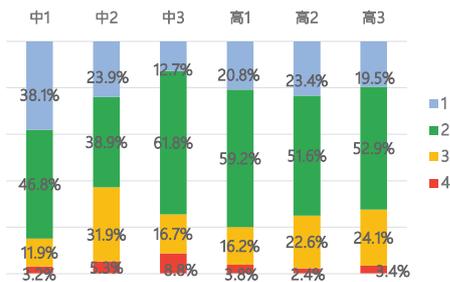
3. 本校の教育方針・教育目標を理解されていますか。



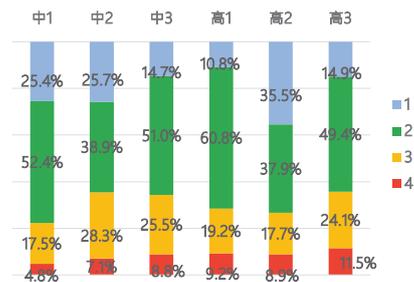
8. 本校の教育活動に対する地域の理解促進のための取り組みや、地域人材の活用が行われていると思われませんか。



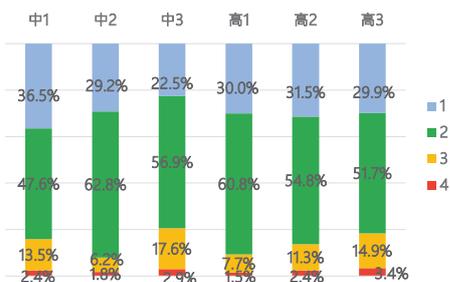
4. ウェブや学校からの連絡、学級通信等によって、学校の様子がよくわかり、指導の意図が伝わっていますか。



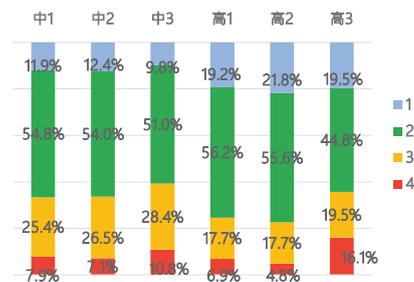
9. 本校は学力向上のために組織的な取組を行っていると思われませんか。



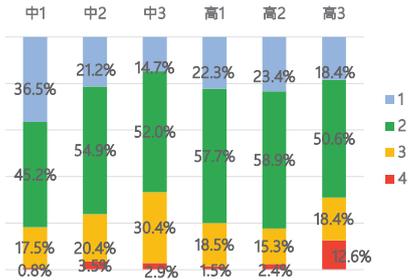
5. 避難訓練や安全対策など積極的な対策を講じていると思われませんか。



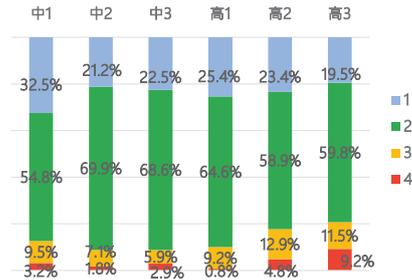
10. お子様は人生のロードマップを描き、逆算して大学や学部を選び、主体的に進路に向けた準備をするための指導がなされていると思われませんか。



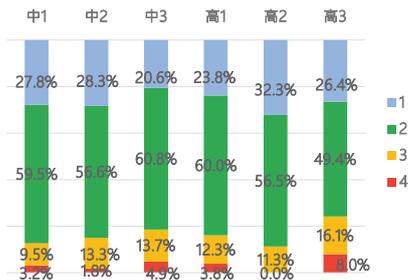
11. 生徒が主体的で対話的な深い学びを行い、思考力を高めるための授業作りを行っていると思われますか。



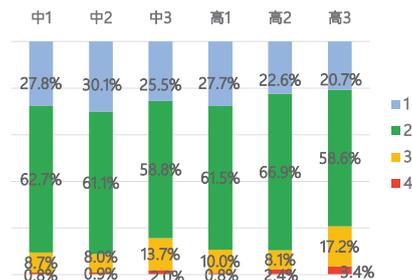
16. 学校や社会のルールを遵守させ、生徒としてのマナーやモラルを向上させる取組が行われていると思われますか。



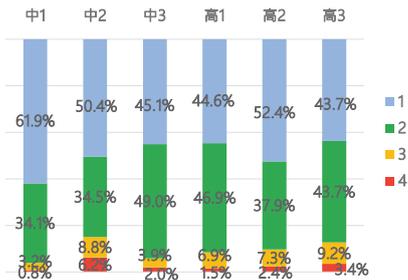
12. 学校は生徒個々の学力とその推移を的確に把握していると思われますか。



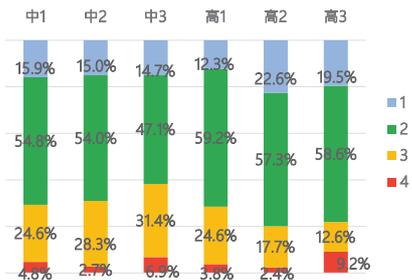
17. いじめを許さない学校・学級作りに積極的に取り組んでいると思われますか。



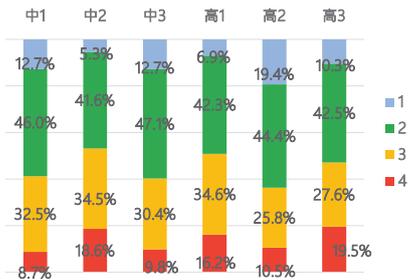
13. 学校は教室のディスプレイやPCなど充実したICT環境を活用し、授業内容の工夫に取り組んでいると思われますか。



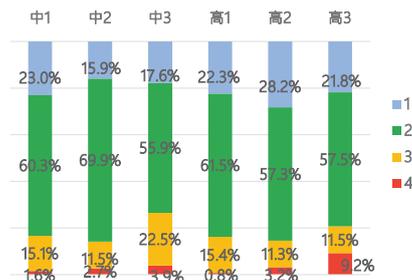
18. お子さまの日常的な言動の中に、社会や地域、他者に対する貢献の意識が見られるようになったと思われますか。



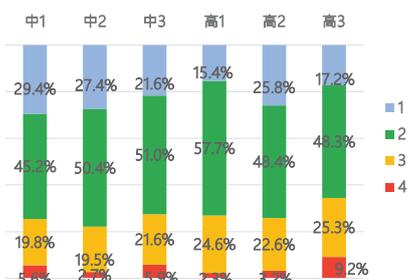
14. 習熟度の遅れた生徒へのフォローや補習授業の取組が十分に行われていると思われますか。



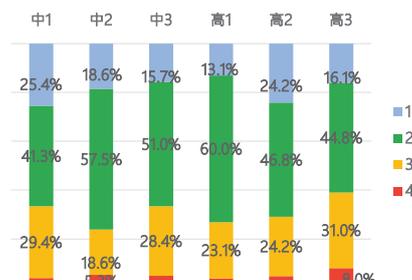
19. 本校では、他者の人権を尊重する教育が十分に行われていると思われますか。



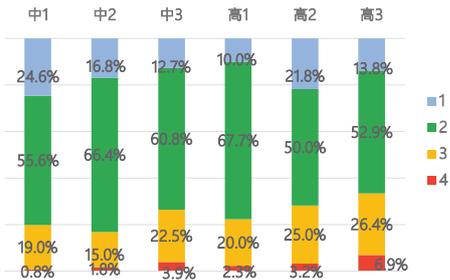
15. 学校からの連絡や懇談は緊密に行われていると思われますか。



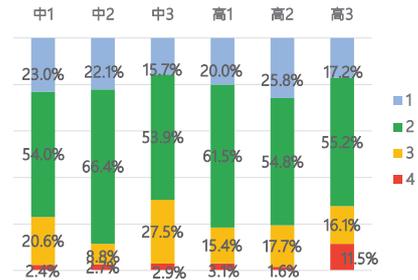
20. 本校は、生徒の学校生活や家庭生活について保護者との懇談や連絡を密に行い、相互理解を図っていると思われますか。



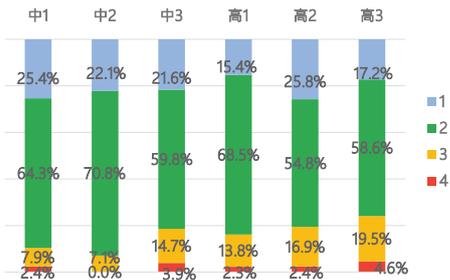
21. 基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導が行われていると思われませんか。



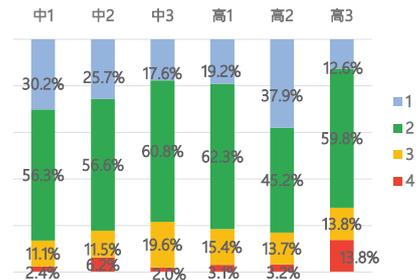
26. 子どもに何らかの問題が生じたとき、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談ができる体制ができていると思いませんか。



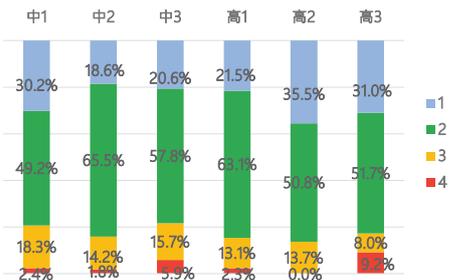
22. 各学校行事の意義や目的を生徒に理解させ、行事を経るごとに生徒が成長していくための指導がなされていると思われませんか。



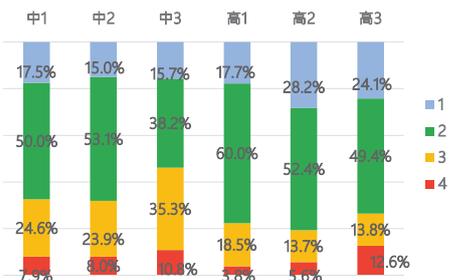
27. 本校の教員は、教材研究や指導力の向上に努めようとしていると思われませんか。



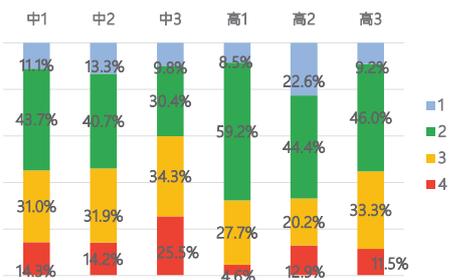
23. 異文化を理解し受け入れ、自文化を論理的に適切な言葉で発信していくための教育が充実していると思われませんか。



24. 高大(あるいは中大、中高の学校同士)の教育連携が積極的に行われていると思いませんか。



25. 初等部と中等部・高等部との連携が十分に行われていると思われませんか。



2020年度 関西大学中部部・高等部 自己点検・評価アンケート結果(教員用)

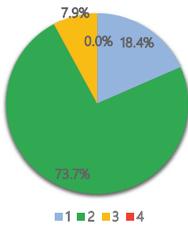
[1] そう思う [2] どちらかと言えばそう思う [3] どちらかと言えばそう思わない [4] そう思わない

	1	2	3	4
1 本校の生徒は充実した学校生活を楽しんでいる。	18.4%	73.7%	7.9%	0.0%
2 本校に入学した生徒・保護者の満足度は高い。	7.9%	60.5%	28.9%	2.6%
3 建学の精神に基づく教育方針・教育目標は、教職員・保護者などの関係者によく浸透している。	5.3%	42.1%	39.5%	13.2%
4 職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されている。	2.8%	19.4%	41.7%	36.1%
5 教員間で相互理解を図るとともに、その信頼関係のもと教育活動を行っている。	2.6%	42.1%	31.6%	23.7%
6 管理職と教員との間で相互理解と信頼関係を築いている。	5.3%	28.9%	44.7%	21.1%
7 教員と事務職員とで相互理解を図るとともに、その信頼関係のもと学校運営を行っている。	26.3%	60.5%	10.5%	2.6%
8 ウェブや学級通信等を利用して、本校の学校生活に関するきめ細かい情報提供を心がけている。	15.8%	47.4%	34.2%	2.6%
9 警察や消防署と連携し、避難訓練や安全講習会を開くなどの安全対策を講じている。	5.3%	36.8%	31.6%	26.3%
10 事故、事件、災害に対する対応が的確に行われる組織になっている。	10.5%	31.6%	36.8%	21.1%
11 生徒や教職員の個人情報管理が適切に行われている。	18.4%	47.4%	21.1%	13.2%
12 本校の教育活動に対する地域の理解促進のための取り組みや、地域人材の活用を行っている。	13.2%	44.7%	31.6%	10.5%
13 学力向上のための組織的な取組を行っている。	7.9%	36.8%	34.2%	21.1%
14 生徒が人生のロードマップを描き、逆算して大学や学部を選び、主体的に進路に向けた準備をするための組織的な指導がなされている。	7.9%	42.1%	36.8%	13.2%
15 生徒が主体的に対話的な深い学びを行い、思考力を高めるための授業作りを組織的にしている。	13.5%	37.8%	40.5%	8.1%
16 模擬試験等を活用して学習状況を計画的に把握し、学年集団・個人への効果的な指導体制がとられている。	13.2%	60.5%	13.2%	13.2%
17 液晶ディスプレイやPCなど充実したICT環境を活用し、授業内容の工夫に取り組んでいる。	34.2%	52.6%	13.2%	0.0%
18 学力不足生徒へのフォローのために補習授業や個人指導を行っている。	18.4%	52.6%	18.4%	10.5%
19 学習状況の説明や家庭学習の把握のため、保護者との懇談や連絡を緊密に行っている。	23.7%	68.4%	5.3%	2.6%
20 生徒に学校や社会のルールを遵守させ、生徒としてのマナーやモラルを向上させる取組を行っている。	23.7%	36.8%	28.9%	10.5%
21 いじめの実態把握に努め、生徒が発する危険信号等を見逃さないようにして早期発見に努める体制が整い、学校組織として共有できている。	31.6%	65.8%	2.6%	0.0%
22 授業や学級会活動などを通して地域・社会の現状を知らせ、自主的な社会貢献を促している。	18.4%	57.9%	13.2%	10.5%
23 他者の人権を尊重する教育が計画的に行われている。	18.4%	52.6%	21.1%	7.9%
24 生徒の学校生活や家庭生活について保護者との懇談や連絡を密に行い、相互理解を図っている。	13.2%	81.6%	2.6%	2.6%
25 基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導を行っている。	15.8%	47.4%	28.9%	7.9%
26 各学校行事の意義や目的を生徒が理解しており、行事を経るごとに生徒が成長していくための指導がなされている。	18.9%	37.8%	32.4%	10.8%
27 異文化を理解し受け入れ、自文化を論理的に適切な言葉で発信していくための教育が充実している。	15.8%	65.8%	10.5%	7.9%
28 高大あるいは中大、中高の学校間の教育連携が積極的に行われている。	13.5%	40.5%	37.8%	8.1%
29 初等部の授業を見学したり、自らの授業を見てもらったり、初等部の教員と話し合ったりして、初中高連携を図っている。	0.0%	15.8%	47.4%	36.8%
30 生徒・保護者の悩みに対して、教員による相談体制やカウンセリング体制が学校全体として整っている。	18.9%	64.9%	13.5%	2.7%
31 本校は、教員の資質向上、生徒の知的好奇心を喚起する授業構成のための校内外の研修体制が充実している。	7.9%	31.6%	47.4%	13.2%
32 教員間で授業を見学し合い、互いに切磋琢磨して授業力を向上させる取り組みをしている。	7.9%	47.4%	34.2%	10.5%

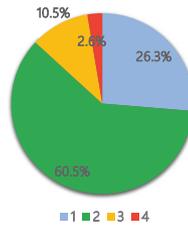
教員集計

[1] そう思う [2] どちらかと言えばそう思う [3] どちらかと言えばそう思わない [4] そう思わない

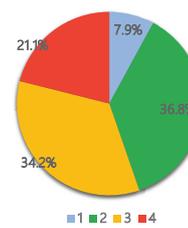
1. 本校の生徒は充実した学校生活を楽しんでいる。



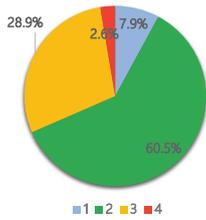
7. 教員と事務職員とで相互理解を図るとともに、その信頼関係のもと学校運営を行っている。



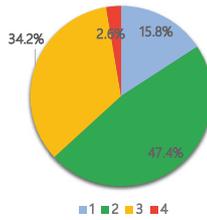
13. 学力向上のための組織的な取組を行っている。



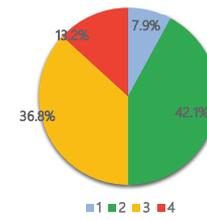
2. 本校に入学した生徒・保護者の満足度は高い。



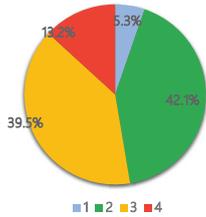
8. ウェブや学級通信等を利用して、本校の学校生活に関するきめ細かい情報提供を心がけている。



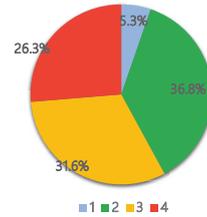
14. 生徒が人生のロードマップを描き、逆算して大学や学部を選び、主体的に進路に向けた準備をするための組織的な指導がなされている。



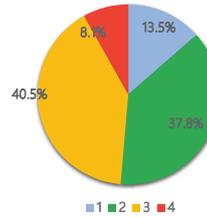
3. 建学の精神に基づく教育方針・教育目標は、教職員・保護者などの関係者によく浸透している。



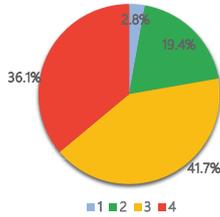
9. 警察や消防署と連携し、避難訓練や安全講習会を開くなどの安全対策を講じている。



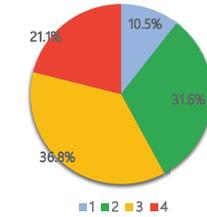
15. 生徒が主体的で対話的な深い学びを行い、思考力を高めるための授業作りを組織的にやっている。



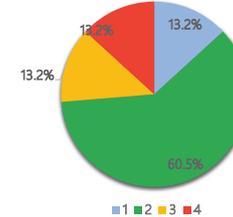
4. 職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されている。



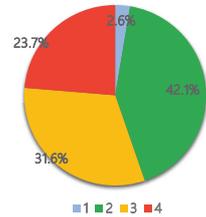
10. 事故、事件、災害に対する対応が的確に行われる組織になっている。



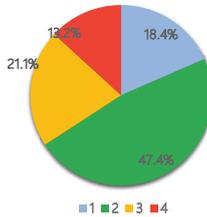
16. 模擬試験等を活用して学習状況を計画的に把握し、学年集団・個人への効果的な指導体制がとられている。



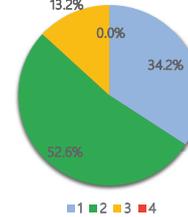
5. 教員間で相互理解を図るとともに、その信頼関係のもと教育活動を行っている。



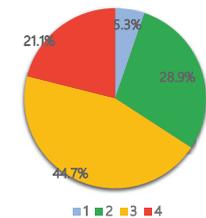
11. 生徒や教職員の個人情報管理が適切に行われている。



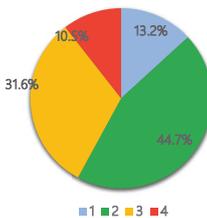
17. 液晶ディスプレイやPCなど充実したICT環境を活用し、授業内容の工夫に取り組んでいる。



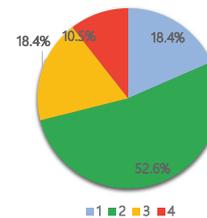
6. 管理職と教員との間で相互理解と信頼関係を築いている。



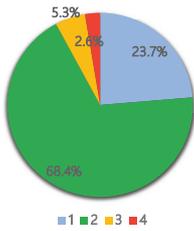
12. 本校の教育活動に対する地域の理解促進のための取り組みや、地域人材の活用を行っている。



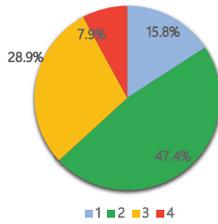
18. 学力不足生徒へのフォローのために補習授業や個人指導を行っている。



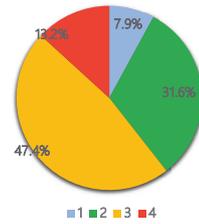
19. 学習状況の説明や家庭学習の把握のため、保護者との懇談や連絡を緊密に行っている。



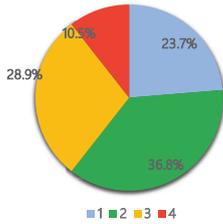
25. 基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導を行っている。



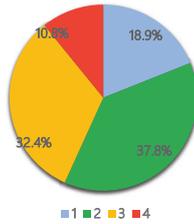
31. 本校は、教員の資質向上、生徒の知的好奇心を喚起する授業構成のための校内外の研修体制が充実している。



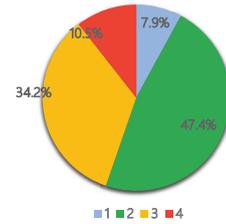
20. 生徒に学校や社会のルールを遵守させ、生徒としてのマナーやモラルを向上させる取組を行っている。



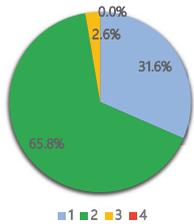
26. 各学校行事の意義や目的を生徒が理解しており、行事を経ることに生徒が成長していくための指導がなされている。



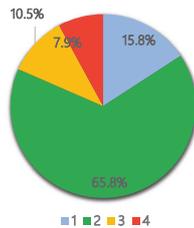
32. 教員間で授業を見学し合い、互いに切磋琢磨して授業力を向上させる取り組みをしている。



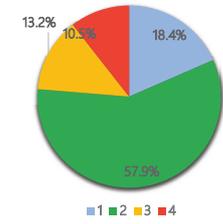
21. いじめの実態把握に努め、生徒が発する危険信号等を見逃さないようにして早期発見に努める体制が整い、学校組織として共有できている。



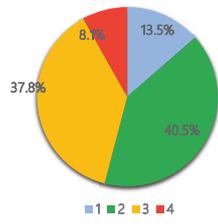
27. 異文化を理解し受け入れ、自文化を論理的に適切な言葉で発信していくための教育が充実している。



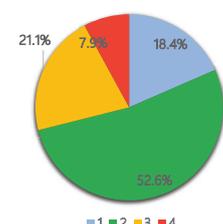
22. 授業や学級会活動などを通して地域・社会の現状を知らせ、自主的な社会貢献を促している。



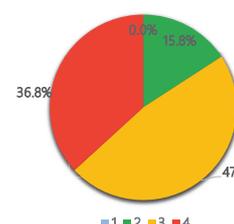
28. 高大あるいは中大、中高の学校間の教育連携が積極的に行われている。



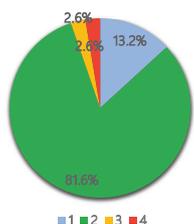
23. 他者の人権を尊重する教育が計画的に行われている。



29. 初等部の授業を見学したり、自らの授業を見てもらったり、初等部の教員と話し合ったりして、初中高連携を図っている。



24. 生徒の学校生活や家庭生活について保護者との懇談や連絡を密に行い、相互理解を図っている。



30. 生徒・保護者の悩みに対して教員による相談体制やカウンセリング体制が学校全体として整っている。

